

令和4年度 林業普及週間現地情報(4/24～4/30)

森林管理課

福祉施設への県産木材利用の普及について

4月28日(木)

令和4年4月28日、名護市内にある指定障害福祉施設せせらぎの里へ県産木材利用の普及のため、現場確認を行った。

同施設に勤務する比嘉氏から、施設利用者に県産木材を用いたコースターづくりをさせることができないかと思案しており、サクラやシロミミズ、ウラジロエノキ、エゴノキ、センダン、ガジュマル等で試作しているところ、サクラの天然乾燥が難しく割れる場合が多いとのことで、比嘉氏は沖縄県森林資源研究センターに相談していた。

そこで今回、同研究センターと共に現場確認を行い、サクラの天然乾燥の知見はないが、同研究センターでも試験を行い、その結果を報告することを伝えた。

北部農林水産振興センターでは、県内の木工者から情報を取り寄せ提供することを伝えた。

また、コースターに安価なレーザー加工機を用いて字や絵等を焼き付け、付加価値を上げることも提案し、同機材を貸し出した。

今後とも、県産木材の利用が福祉施設の利用者の支援につながるよう協力したいと考えている。



加工状況の視察



天然乾燥の様子



サクラのコースターの割れの状況

(報告者：北部農林水産振興センター 仲宗根・仲里)